

平成30年度生坂村消防委員会要旨

1. 日 時 平成31年1月16日 午前10時00分から
2. 場 所 生坂村役場 第3会議室
2. 出席者 竹内一郎（消防委員長）、小林栄一郎（消防委員）
吉澤弘迪（議会推薦）、平田勝章（議会推薦）、一ノ瀬貞男（議会推薦）
寺島慶次（消防団長）
藤澤泰彦（村長）、牛越宏通（総務課長）、瀧澤和旦（消防主任）
3. 会長選任 会長 竹内一郎、職務代理者 竹内元己

4. 協議事項

- (1) 本年度事業内容並びに来年度事業計画について

説明事項

平成30年の消防団の事業報告と、防災関係事業の2事業、消防施設等整備事業の2事業について説明し、続けて平成31年度の消防団事業計画について説明。

委員からの質問意見

特になし

- (2) 消防設備整備要望箇所について

説明事項

各分団から要望として上がっている防火水槽、消火栓、消火栓ホース、消火栓BOX、表示看板、消防車両の修繕・更新が必要な箇所を説明。

また、平成31年度に草尾東防火水槽の漏水箇所の修繕と、20年以上経過している草尾部の積載車1台の更新を進めていきたい旨を説明。

委員からの質問意見

- Q. 防火水槽の金網や枠が無いものについては、危険性が高いため早急に対応するべきではないか。また、要望に挙がっている防火水槽や消火栓は修繕等の対応したほうがよいのではないか。
- A. 平成31年度に老朽化が進んでいる防火水槽や消火栓の調査を実施し、緊急性の高いもの等を精査し対応していきます。
- Q. 平成28年度と平成29年度に詰所の建替えを実施し、すべての詰所が耐震基準を満たしているが、古くなり痛みが進んでいるため、内部の改修等も検討してもらいたい。
- A. 今後、現状を確認しながら検討していきます。

Q. 水利の表示看板の老朽化が進んでいて表示が見えなくなっているが、対応しているのか。

A. 既に新しい看板を各分団に配布してあるので、次回に分団長会議で交換作業を依頼します。しかし、作業を行う人員が不足しているため、今後は地区と協力して行うことも検討していきたいです。

(3) その他

説明事項等

寺島団長より

- ・ 消防団員の報酬を個人払いに変えて運営交付金を導入するなど、団員報酬のあり方を見直して、消防団員が活動しやすく家族より理解の得られる環境を整備したい。

委員からの質問意見

- ・ 消防団全体の意見を集約して一つの方向性を出して、要望を上げてほしい。
- ・ 報酬の個人払いについては、会計の透明性の観点からも必要である。
- ・ 人員確保が難しいからと言って、単純に税金を投入するのではなく、各地区から負担金を集めて作業費等に充てることも検討する必要がある。
- ・ 消防団員のなり手不足については、農業研修生等の外部から入ってくる人に行政が加入促進のアプローチをする必要がある。
- ・ 区から負担金を出しているが、費用の内訳がわからないため、必ず各区に会計報告を出すようにしてほしい。

行政側の回答

- ・ 松本消防協会管内の状況を確認しながら、平成31年度中に報酬のあり方と出動簿の状況について検証を進め、来年度の消防委員会で方向性を出したいと考えます。
- ・ 各分団の会計報告については、分団長会議を通じて徹底させます。